

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科金属用接着材料（70921000）

メタルロック

【禁忌・禁止】

本品又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

- (1) 形状 無色透明液体
(2) 成分 アセトン、多官能アクリレート、
リン酸エステル系モノマー、硫黄系モノマー、開始材
(3) 原理
本品を金属面に塗布し、金属とレジン系歯科材料とを接着するために用いる材料である。

【使用目的又は効果】

金属製修復物又は装置の接着に用いる。

【使用方法等】

本品は、歯科用金属で作製した歯科修復物又は装置の表面を改質して各種レジン材料との接着性を高めるために使用する前処理材である。

1. メタルフレームへ歯冠用硬質レジンを築盛する場合

- (1) 被着面処理（前処理）
被着面をアルミナ粒子（50～100μm）によりサンドブラスト処理（約 0.3～0.5MPa）を行い、水洗し、乾燥させる。
(2) 本品の塗布・光重合
本品を被着面に塗布し、光重合する。
重合器に「LED トレーキュア」（歯科技工用重合装置、23B1X10001A69014）又は「LED キュアボックス プラス」（歯科技工用重合装置、23B1X10001A69013）を使用する場合、10 秒間光照射する。
(3) 歯冠修復物の作製・接着
使用する歯冠用硬質レジンの添付文書等に従って行う。

2. 義歯床、矯正装置の作製及び修理の場合

- (1) 被着面処理（前処理）
被着面をアルミナ粒子（50～100μm）によりサンドブラスト処理（約 0.3～0.5MPa）を行い、水洗し、乾燥させる。
(2) 本品の塗布
本品を被着面に塗布し、自然乾燥する。
(3) ①義歯床用アクリル系レジンの填入及び重合
使用する義歯床用アクリル系レジンの添付文書等に従って行う。
②歯科矯正用レジン材料の成型及び重合
使用する歯科矯正用レジン材料の添付文書等に従って行う。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- (1) 本品は揮発成分を含むため、採取後すみやかに密栓すること。
また、採取後、すみやかに使用すること。
(2) 併用医療機器の使用に際しては、各製品の添付文書の使用法、注意事項を確認してから使用すること。

【使用上の注意】

1) 使用上の注意

- ① 本品を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
② 本品との接触による過敏症状の予防のため、使用に際しては、医療用（歯科用）手袋及び保護メガネの着用等の適切な防護措置を行うこと。
③ 本品が皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。
皮膚に付着した場合は、直ちにアルコール綿で拭き取り、直ちに大量の水で洗浄すること。又、目に入った場合は、大量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。

なお、医療用（歯科用）手袋は本品の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本品が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分に洗浄すること。

- ④ 本品は機発成分を含有していることから、使用後すぐに容器を密栓すること。
⑤ 本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
また、高温となる場所、直射日光のあたる場所に置かないこと。
⑥ 他の製品と混用しないこと。
2) 重要な基本的注意
① 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
② 本品又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は、使用しないこと。
③ 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた術者は、使用を中止し、医師の診察を受けること。

※【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・ 室温（1～30℃）の暗所で保管すること。
- ・ 一つの保管庫に、大量に保管しないこと。
- ・ 使用及び保管場所には消火装置を備えること。
- ・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【使用期限】

本材は記載の使用期限までに使用すること。
（使用期限は当社データによる）

※EXP. XXXX-XX-XXは使用期限XXXX年XX月XX日を示す。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 山八歯材工業株式会社
電話番号 : 0533-57-7121
FAX 番号 : 0533-57-1764
e-mail : box@yamahachi-dental.co.jp